

Sureであること

当社は認定基準として JIS Q 17025 (ISO/IEC 17025) を用い、認定スキームを ISO/IEC 17011 に従って運営されている JCSS の下で認定されています。JCSS を運営している認定機関 (IA Japan) は、アジア太平洋試験所認定協力機構 (APLAC) 及び国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。当社は国際 MRA 対応 JCSS 認定事業者です。JCSS 0188 は当標準案の認定番号です。

校正は当社にお任せ下さい

【長さ】マイクロメータ
ブロンクゲージ (比較測定法による)
【電気(直流・低周波)】直流電流発生装置 交流電圧発生装置
直流電流測定装置 交流電圧測定装置
直流電圧発生装置 直流抵抗発生装置
直流電圧測定装置 直流抵抗測定装置 交流電流測定装置

電子計測器・度量衡の校正
株式会社宝栄
栃木県宇都宮市宝本町1192-27
TEL.028-665-4494 FAX.028-665-4495
キャリアレーションセンター
栃木県宇都宮市石部田町140-3
TEL.028-678-5445 FAX.028-665-5667

万能測長機 [ULM600]

http://www.houei.jp E-mail info@houei.jp



菱彩テクニカ(株)

A Group Company of

半世紀に及ぶ校正実績で
お客様のものづくりを応援します。
品質確保は、正しい計測器から!!

各種 機械系・電気系 計測器検査のご相談承ります。

(※JCSS校正サービスの対象：ノギス、マイクロメータ)

計測器の校正は是非当社にお任せください

〒661-0001 兵庫県尼崎市塚口本町8丁目1-1
TEL:06(6497)8265
FAX:06(6497)8254
http://www.ryosai.co.jp 計測管理課
お気軽にご相談ください。

国内最多の認定品目/校正範囲

計測器の校正は信頼と実績のJQAにお任せください

【主要認定校正品目】 ✓今春認定品目拡大予定 ✓特殊な計測器も対応

長さ標準器	マイクロスケール	マスタゲージ	長さ精密測定機	工場測定工具 直尺・巻尺	角度測定器
温度/湿度 測定器	温湿度試験装置	電子計測器	放射線測定器	EMC試験用 計測器	濃度計
質量計	力計	トルク計測器	力/硬さ 試験機	圧力計	密度計
体積計	風速計	流量計	騒音計	振動計	その他多数 →詳細はWEBへ

一括校正、出張校正承ります。
その他、計測器管理システム、無梱包輸送、技術相談、
各種セミナー(出前可)等多様なサービスをご用意しております。

JQA 一般財団法人 日本品質保証機構 JQA 校正 検索

JQA 計測計測センター (1400.01)、
中部試験センター (1400.04)、
関西試験センター (1400.03)
および九州試験所 (1400.05) は、
ISO/IEC 17025 に基づき A2LA から
校正機関として認定されています。

JQA 計測計測センター (JCSS 0029)、
中部試験センター (JCSS 0064)、
関西試験センター (JCSS 0071)
および九州試験所 (JCSS 0104) は、
国際 MRA 対応 JCSS 認定事業者です。

Work Together

JCSS 0092

シンワ測定株式会社 品証部は国際MRA対応JCSS登録
事業者です。JCSS 0092はシンワ測定株式会社 品証部
の登録番号です。

お客様に信頼される校正サービスを
提供いたします

弊社JCSS校正サービスの対象
直尺・鋼製巻尺・ノギス・外側マイクロメーター
詳しくはお問い合わせください

シンワ 測定株式会社
蒸物流センター / 〒959-1276 新潟県燕市小池3481
●新潟営業部 TEL.0256-63-8130(FAX) 0256-63-8132

計量の信頼性確保に不可欠

計測器の精度管理が重要 産業界への普及進む

国際MRA対応
で外国にも通用
JCSSは計量法に
基づく計量のトレーサ
ビリティ制度。計量
校正を正す事業所の
技術能力やトレーサビ
リティが校正機関認
定の国際規格ISO
IEC17025を満
たしているのかを製品
評価技術基盤機構(N
IPE)の認定センタ
ーが審査・認定する。
法定計量、品質マネ
ジメント(QMS)認
証メーカー独自の校
正証明書では技術能
力の確保や、トレーサ
ビリティ確保に必要な
不確かさの推定がされ
ていない。JCSS事
業者の発行するJCSS
校正証明書であれば
校正結果が国家計量
標準に繋がっているこ
との証明となる。

さらに、多国間相互
承認(国際MRA)対
応認定事業者の認定を
受けたJCSS事業者
ならば国際的にも通用
する証明書の発行がで
きる。JCSS認定シ
ンワが、NI

規格や要求仕様に適合した製品づくり、環境規制基準などへの適合確認には検査、試験、測定の結果の信頼性が不可欠。それには使用する計測器の精度管理が重要となる。計量法校正事業者登録制度(JCSS)は国家計量標準へのトレーサビリティ確保とISO/IEC17025登録・認定を通じて信頼性の高い計測器管理に貢献している。1993年11月に始まったJCSSは産業界への浸透が進んでいるが、より有効な活用が期待されている。

校正周期の適正化など、精度管理・校正管理に生かしてほしい(同)と校正証明書の積極活用を呼びかける。

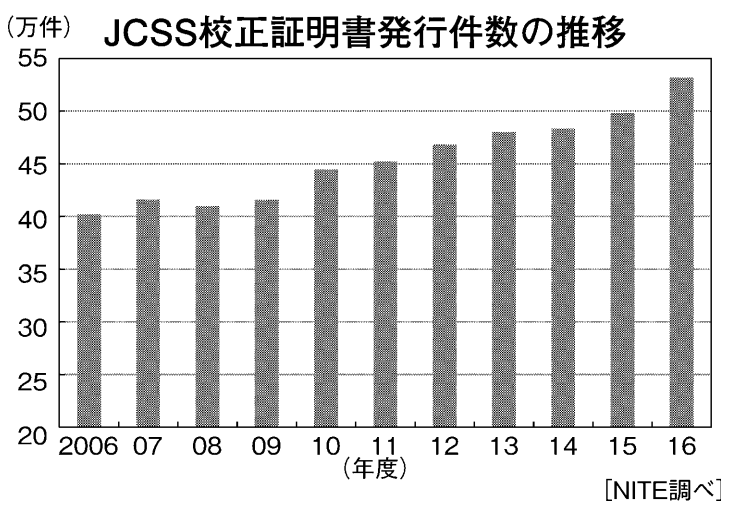
放射線治療、安心・安全・確実に

JCSSの校正は生産現場での計量トレーサビリティ確保だけでなく、健康、教育保健の現場でも貢献している。

例えば放射線治療は、がん細胞に効いて正常細胞には支障のない線量の範囲が非常に狭く、許容される不確かさは5%程度、線量測定の不確かさは1%以下が要求される。JCSSによって年間約1000件の治療用線量計の校正と精度維持によって、安心・安全・確実な放射線治療が実現している。

学校教育法では就学前後の健康診断項目に聴力検査がある。1000ヘルツ・30分、4000ヘルツ・25分の小さな音をオーディオメーター(聴力計)で聴かせ、難聴の有無を検査する。09年、JCSS登録・認定範囲にオーディオメーターが含まれ、年間1万台のJCSS校正が実施されるようになった。学校での聴力検査の信頼性向上と児童の難聴の早期発見に貢献している。

さまざまな活用事例はNIPE認定センターのホームページでも紹介されている。



発行してユーザーへの普及と発展につなげてほしいと要望する。またユーザーには例えば校正結果の数値を継続的にみることに

HRC/HV JCSS 硬さ基準片

日本工業規格準拠

JIS, ISO 準拠
高精度
硬さ基準片
www.ystl.jp

株式会社 山本科学工具研究所
〒272-0018 千葉県船橋市東本町2-1-1
電話(0474)31-7451(代表)FAX(0474)32-8592

国家との「つながり」証明

健康・教育保健現場でも活用

校正証明書は、国家計量標準に繋がっていることの証明となる。さらに、多国間相互承認(国際MRA)対応認定事業者の認定を受けたJCSS事業者ならば国際的にも通用する証明書の発行ができる。JCSS認定シンワが、NIPE認定センターのホームページでも紹介されている。

国産・海外製を問わずあらゆるメーカーの計器を校正します。

大手技研では、圧力、気体流量、質量、温度の4分野の校正を提供。気体流量を除く3分野はILAC-MRA対応のJCSS校正が可能です。圧力校正については、国家標準と同等水準の特定2次標準器を有する第一階層の校正事業者として、業界トップレベルの校正技術を提供しています。

圧力 一般 JCSS

重錘形圧力天びん
デジタル圧力計
圧力変換器・伝送器
機械式圧力計
液柱形圧力計

校正範囲
気体圧力 1kPa~70MPa
(JCSS: -90kPa~-10kPa)
10kPa~7MPa
液体圧力 100kPa~500MPa
(JCSS: 100kPa~400MPa)

質量 一般 JCSS

OIML型分銅
(F2級, M1級, M2級)
規格外分銅・おもり

校正範囲
ポンド表示対応
1mg~15kg
(JCSS: 分銅 10mg~10kg)
おもり 10mg~15kg)

気体流量 一般 JCSS

面積式流量計
石炭膜流量計
湿式ガスメータ
マスフローメータ
マスフローコントローラ

校正範囲・ガス種
1scm~100slm
N2, Air, He, H2, Ar, SF6

温度 一般 JCSS

指示計器付温度計
測温抵抗体温度計

校正範囲
0℃~100℃

その他サービス

出張校正・
引取り・配送サービス
年間契約・一括契約
機器管理代行サービス
校正シール発行サービス

OHTE GIKEN, INC.
500 8RD 5111 KAWASUMI, IZUMI
CAL DATE BY
JUL/27/2016 KK
CERT NO 1607094-F
DUE DATE
JUL/26/2017 (推奨)

液体水素 (-253℃) に用いる
極低温用標準白金抵抗温度計
NSR-13K-1000

2017超モノづくり部品大賞「環境関連部品賞」受賞
※温度係数1.3851のPt1000.Qも製作可能です。

ネットシンが世界に誇る白金抵抗素子【Ptセンサ】は、高速/高精度/そして限りなく「点」に近い温度計測を実現します。集積回路製造というミクロの技術から、低温~高温までの幅広い温度領域の計測技術まで、今あらゆる先端技術に高精度な温度計測は欠かせません。まさに現代文明を支える「原点技術」、それがネットシンの【Ptセンサ】です。

The Origin Of All Engineering

原点 技術

NETSUSHIN
Ptセンサのトップメーカー

http://www.netsushin.co.jp/